

メッセージ題「礼拝の喜び」 <先週の講壇より>

「十一人の弟子たちは、ガリラヤに行って、イエスの指示された山に登った。そして、イエスにお会いしたとき、彼らは礼拝した。」マタイ28：16～17

礼拝とは、漢字では「礼を尽くして」「拝する」と書きます。原語ギリシャ語では礼拝は「プロスキュネイザン」というのですが、「プロス＝伏せる」「キュネイザン＝口づける」という意味で、地に口づけるほどにひれ伏すということを示しています。

それではどなたを礼拝するのでしょうか？それは、私たちの罪のために十字架で命を投げ出し、三日目に復活された、主イエス様のことを、私たちは礼拝するのです。

ユダヤ教の礼拝は、土曜日と決められています。しかし初代の教会は、日曜日に礼拝を始めました。大迫害下にあったクリスチャンたちにとって、それは命がけの行為だったのですが、彼らはそれを続けました。なぜ日曜だったのか、それはイエス様が復活されたのが日曜の朝だったからです。イエス様は私のために命を投げ出してくださった、だからこのお方を命がけて礼拝していったことでした。

私たちは今日も、救い主イエス様を心から礼拝させていただきます。何という喜び、何という感謝でしょうか。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2021年5月23日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは、いのちの言葉を強く持って、彼らの間で星のようにこの世に輝いている。」

ピリピ2：15

☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈禱会 : (水) 18:30-

